

# あたらき大地

1987年 9月号 NO. 22

## 団地内に関西初の木造3階建てモデル住宅を建設

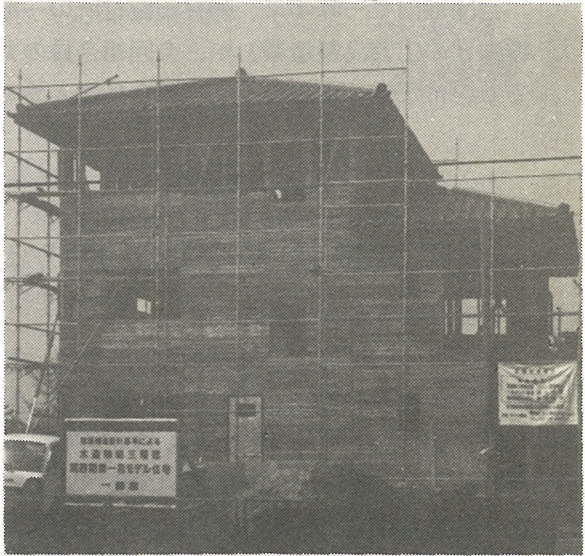
当ウッドリーム大阪の要望で、木造3階建て住宅の関西間の寸法（モジュールを965㎜とする）及び屋根の形状が寄せ棟でもよいということに設計基準の一部が改正され、去る7月23日に全国で始めて簡易構造設計基準による関西間の説明会が、(株)日本住宅・木材技術センターの主催でウッドリーム大阪で行なわれた。（別記事ウッドリーム大阪だより参照）

この改正に伴い木造3階建て住宅建設委員会で、予てより企画していたモデル住宅が、当団地内（狼谷住宅地）に建設されることになった。

施主は組合員、(株)一柳ケース製作所の社長で、施工は葵建装(株)、資材は(株)中川木材店、(株)建・菊水(株)・成瀬特殊木材(株)・マルコマ(株)等、3階建て住宅建設委員会のメンバーの協力により11月頃完成の予定である。この建物は、木造軸組3階建て関西間第一号の住宅であり、完成後一年間はモデル住宅としてより多くの方々に見学してもらうことになっている。

ところでこの3階建て木造住宅に使われるヒノキの通し柱（長さ8.5m・135cm角）は、これまで一般に使われていなかっただけに市場には流通していないため、今回大阪営林局の協力を得て、田辺営林署より組合員、三信木材(株)へ搬入し製材したものであるが、今後の木材需要に大きなインパクトをもたらさう。

木造3階建て住宅建設委員会の試算によると、従来の2階建てより坪2万円程度高くつ



（建設が進む木造三階建て住宅）

くが、地価高騰の折柄、土地の有効利用を考えると安上がりという事になる。

つまり坪10万円以上の土地であれば、3階建ての方が有利になることが分かった。今回坪40万円の土地であるため、トータルでは約300万円位が得になったことになる。

土地代が上がれば上がるほど3階建てのメリットが出てくるわけで、それだけに今後この木造3階建て住宅への関心がますます高まっていくものと思われる。

## < 理事会の議事録から >

### ◎ 簡易郵便局の開局2周年記念行事について

当木材団地簡易郵便局が開局後満2周年を迎えるが、郵便局業務の伸長とPRの促進をはかるため、今回、9月1日～9月30日を感謝月間とし、この間の利用客に対して、景品付抽せん券を配布することになった。なおこの感謝月間のための支出費用は10万円を予定。

### ◎ アツキ工業(株)の組合加入について

当団地内で一昨年来、(株)林田製材所の一部施設を賃借していたアツキ工業(株)(カップ、楯などの工芸品製造業)が、今回組合員の丸八木材(株)の敷地の一部(460坪)を買収することになり、審議の上、当組合に加入することが承認された。

## “環境整備すぐやる課”だより

### ◇ 環境整備事業総会開催

昨年7月より開始した環境整備事業は、本年3月末をもって初年度の事業が終了し、去る8月6日第1回の通常総会がウッドリーム大阪で実施された。

事業参画企業90社(内組合員48社、友好企業42社)の内、当日出席38社、委任状出席45社となっており、中川理事長の挨拶のあと、豊岡環境整備委員長が議長になり、昭和61年度事業報告、同決算報告、昭和62年度事業計画、同予算計画等が審議された。

昨年度の事業実績については、かなり効果が上がった事が確認され、今年度の事業は従来の基本的な清掃作業等、事業を継承しながら新しい企画として、予て一般募集した、団地内道路の通称名が普及できるよう、表示看板を設置する事が決定された。

又、団地内違法駐車車輛と道路放置物の問題については、完全実施のために駐車規定の厳守と放置物の完全撤去をする事が強く決議された。

この問題については、「環境整備すぐやる課」としても、今後いろいろな施策、方法をとって改善出来るよう努力していくべきであるが、各企業側としても今後一層、意識の昂揚をはかってもらいたいものである。

総会終了後、簡単なパーティーが開催され、友好企業、組合員企業相互にコミュニケーションと親睦を深め、盛会裡に終了した。



## 【組合員企業の紹介シリーズ】『うちの会社』

〔その22〕

大平林業株式会社 社長 西野棟雄



我社は昭和36年創立当初より、木材の高度有効利用を目指し、特に高級銘木を中心にツキ板の製造販売、合板加工を営んでおります。

昭和55年本社機能を当木材団地内の現在地に移転後は、名実共に当組合員であるとの認識のもとに営業活動を続けております。取扱樹種も国内の広葉樹、米国産広葉樹、東南アジアのチーク、ローズ、花林等の銘木、またアフリカ材等多種にわたり、世界中の銘木をその木のもっている特徴を生かし利用することを目標にしております。

用途も家具用、建築用、造作用等ツキ板を利用されるどんな方法でも相談に乗れる体制で注文をお待ちしております。当団地内ではツキ板の展示即売会が大阪ツキ板センターで開催されており、当社もメンバーの一社ですがそれとは別に、独自のツキ板展示即売会も年3回開催しております。10月後半にも開催予定ですので、一度見学にご来社下さい。お待ちしております。

## “木栄会だより”



### ★ 第9回団地内工場見学会を実施

去る6月26日、第9回団地内工場見学会(参加者20名)が実施された。この見学会は同会情報交流委員会の企画で、今回はアツキ工業(株)、ヤマキインテリア(株)、(株)伸生スクラップの3企業を対象に2時間半にわたって見学した。繊細な生産、大胆な解体、短時間に両極端な業態にめぐり合わせた興味深い見学会であった。

### ★ 安全運転講習会を開催

去る7月3日、午後6時よりウッドリーム大阪研修室に於て、講師に黒山警察署交通課の主任者を迎え、団地内運転免許証保持者を対象に表記講習会が行われた。

講習会は実際の交通事故をもとに作成された映画と担当者の講話とで約1時間行なわれた。聴講者は66名にものぼり一同皆、飲酒運転やスピードのこわさを痛感し、「安全運転」を再認識させられた講習会であった。

### ★ 夏季親睦バスツアーを実施

去る7月19日(日) 当会親睦委員会企画による京都方面への表記バスツアーが、会員とその家族ほか総勢80名(バス2台に分乗)により盛況裡に実施された。東映太秦映画村では映画やテレビの撮影トリックをものめずらしく見学し、また昼食の湯どうぶ料理では、しみじみと京の味に舌鼓を打ち、また銘木のふる里、北山杉資料館においては京都の伝統産業である絞磨丸太の製造工程を見学した。

当日は悪天候ではあったが、古都京都において会員同志とその家族とが親睦を深めた一日であった。



# “ウッドリーム大阪”だより

## ◎ 木造三階建(関西間)講習会開催

去る7月23日(木)(社)日本住宅・木材技術センターが主催し、当組合が協賛で「三階建木造住宅簡易構造設計基準 関西間」の講習会が開催された。

定員150名をオーバーし、170名近い受講者が北は福井、南は広島方面から木材業者、工務店、建築設計関係者らが集まり、午前10時から建設省住宅局建築指導課の藤原課長補佐ら3講師によって、「三階建木造住宅の簡易設計基準の改正と構造計算等について」講習された。

なお受講者は、団地狼谷住宅地内に、建設中の木造三階建住宅の見学も行った。



## ◎ 全国木材利用普及施設の連絡協議会が発足

ウッドリーム大阪と同様の木材の利用普及のための施設が最近、全国各地で増えてきている。この中には運営がうまく行われている施設もあるが、施設によっては試行錯誤の運営を続けているところもかなり多いようである。

そこで全国の各施設が緊密な連携のもとお互いの情報やノウハウを交換しながら効果的な活動を展開し、木材需要の拡大による業界の発展に寄与することを目的に、このたび「全国木材利用普及施設連絡協議会(略称、木普協)が発足することになり、去る8月27日東京、麻布のグリーン会館で創立総会が行われた。

創立総会には全国の13施設(下記のとおり)が参加し、代表世話人として会長に中川藤一理事長、副会長に守屋光雄氏(宮城県木材文化ホール代表者)、そして監事には、安藤友一氏(ウッドリーム愛知の運営副委員長)が夫々選ばれた。

総会後の懇親パーティには、田中林野庁長官をはじめ関係官庁や業界団体の方々多数の臨席のもと、今後この協議会が少しでも輪を広げ、木材業界の伸展に大きく貢献することが期待された。

(参加施設名)

施設の名称	所在地	施設の名称	所在地
(財)日本住宅・木材技術センター銘木標本館	東京都江東区	宮城県木材文化ホール	仙台市
(株)あるぼーる	奈良県桜井市	小国町林業総合センター	熊本県阿蘇郡
ウッドリーム大阪	大阪府南河内郡	ウッドコミュニティ高知	高知市
東京営林局・東京木材サービスセンター	東京都江東区	勝山木材ふれ合い会館	岡山県真庭郡
ウッドリーム富山	富山県射水郡	松本木工館	長野県松本市
名古屋営林支局需要開発センター	名古屋市	信州国際音楽村ホール「こだま」	長野県小県郡

## ◎ 木材知識講習会開催

去る8月28日(金)、標記講習会が開催され、建築関係者を中心に68名が聴講した。

記

第1部 『新しい木質構造材「TJI」について』

大鹿振興(株) 建設材料部 辻 健氏

内容……ツーバイフォー住宅の床根太・屋根たる木として建設大臣許可を受けたI型木質複合梁(商品名「TJI」)の紹介

## 第2部 『米国から来た新製品「エンジニアボード(EB)」』について

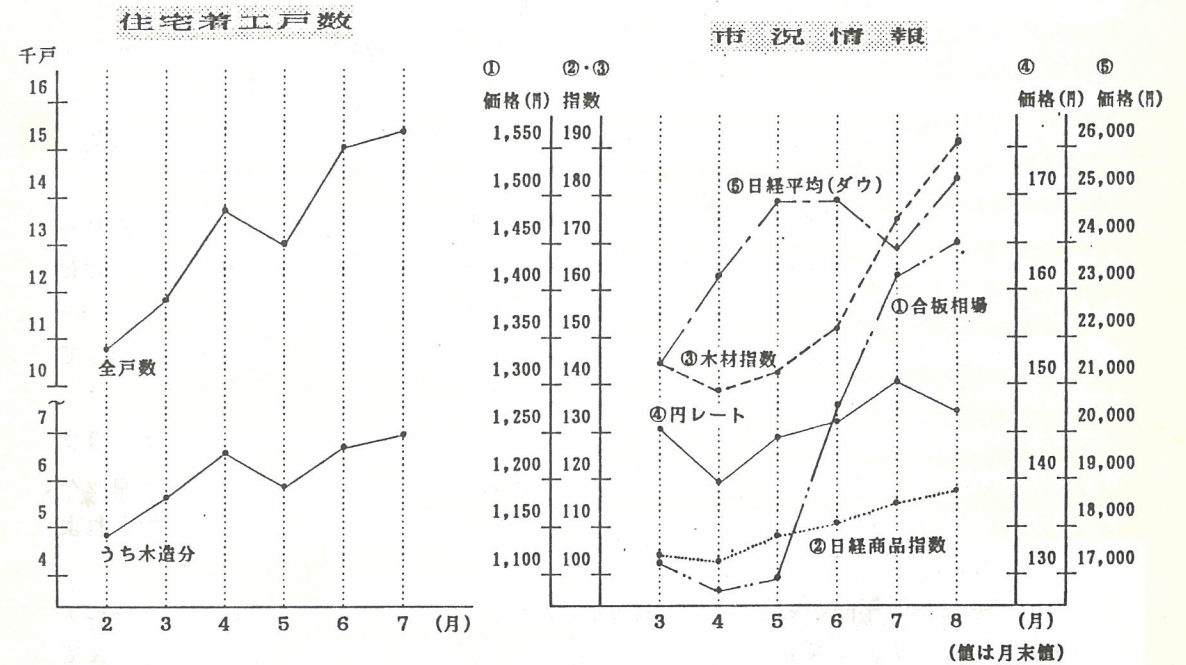
山王木材(株) 建材部営業推進課長 脇田 米雄氏

内容……アメリカではもう常識になってしまったオリエンティド・ストランドボード(OSB)、そのOSBにウェア・ハウザーならではのハイテクを加えた画期的な新製品、エンジニアボードについてビデオを用い説明。

## 第3部 『建築と木材』について

大阪府建築部 参事 戸谷 英世氏

内容……ツーバイフォーを中心にした最近の木材建築の動向についての講演



## 企業を守る損害保険のことなら

### (株) 大阪木材団地サービスへ

各種 火災・自動車・傷害保険を取り扱っております。

南河内郡美原町木材通四丁目1番1号

大阪木材工場団地協同組合内 tel 0723-61-2670-1

## 『ちょっと一言』

ヤマキインテリア株式会社 山谷 吉良



7月初旬、スペイン南部マドリッド、パリ、ロンドン、スコットランドのエジンバラ、ゴルフ発祥の地セントアンドリュース等を廻り、ホテル、レストラン、ゴルフ場、レジャー施設の視察に参加しました。忙しいスケジュールでしたが、その時の南スペインの印象を書いてみましたので……。

『コスタ・デル・ソル』 スペイン語で「太陽の海岸」という意味で、私も今回の視察旅行（7月初旬）に参加するまで耳にしたこともない言葉でした。

コスタ・デル・ソルはスペイン南西部、アンダルシア地方マラガ市を中心に西へ、あのジブラルタル（英領）あたりまでの地中海に面した約300kmの海岸線一帯のことを言います。日本の旅行案内書や地図には、ほとんど載っておりませんので暑い田舎へ旅するものとはばかり思っていたのが大間違いで、当地は地中海性気候そのもので、一年中温暖で夏の気温も30度前後ですが、湿気も少なくとても爽やかでありました。

マラガ市は、アイ・ジョージの歌「マラゲーニヤ」（マラガ踊り）のご当地で、スペイン内陸の首都マドリッドより空路約1時間の国際空港で、バカンスの季節にはヨーロッパ各地、アフリカ、アラビア各地より、コスタ・デル・ソルへの外国人が押し寄せる玄関口として賑わっておりました。

この町は、昔フェニキア人により建てられ、ローマ時代、アラブの時代と支配者が代った古いところで、民族の血と文化が交っているそうです。16世紀に建てられた太聖堂はほんとうに立派なものでした。町を見下す高台には、幾度と戦火を交えたようなヒブラルファロ城の城壁が続き、「つわものどもが夢のあと」を思わせる散策コースの公園となっていました。ここも人はまばらでした。

マラガ市より西へ14km行くと、コスタ・デル・ソルの中心の町トレモリーノスがあります。ここでは日本人の姿はほとんど見かけません。夏のバカンスにやって来たヨーロッパ、アメリカ、アラブの人達は現地スペイン人よりも多く、政府も観光には大変な力の入れようだそうです。

この地域も12～3年前から急に観光地、別荘地として開発され、ホテル、別荘（特にアラブ貴族）ショップ、レストラン、レジャー施設（ゴルフ場、闘牛場）の建築ラッシュでした。建築はブロックのようなレンガ造りで、細い鉄筋を使っていましたが、ほとんど機械力を用いず、裸の人達がのんびりやっていました。地震もなく、雨が少ないのか樋がなかったのと、別荘地の道路に側溝がなかったのが不思議に思われました。家々の外壁は白ペンキ塗りですが、内装家具には、木材を多用しておりました。

海岸線から丘陵地帯にかけて、白い壁と赤い屋根瓦の家々が、強烈な日差しと澄んだ青空に映えて時間を忘れさせる、のんびりとした光景が続きます。キャディーはいないが、広くてゆったりしたゴルフ場が幾つもあり、時価ン億円のヨットが並ぶヨットハーバーがあり、ビーチに出るとトップレスレディーを多く見かけます。

トレモリーノスより車で約1時間西へ行くと、マルベージャという町があります。この町も高級別荘が多く、特にアラブ貴族の別荘が目につきます。この町の自動車も通れない

裏通りを行くとギリシャ風の白い町並です。窓という窓には花がいっぱいで、石畳のくねった路を進むと広場があり、小さな教会、洒落たショップがあります。テントや旗、イステーブルが赤黄青白と原色です。それがなぜか良く調和されているのです。小さなレストランのスペイン料理は、豊富な魚介類が中心で日本人の口に合います。デザートは果物やアイスクリームの量には閉口しました。労働者の給料は8万～15万円位ですが、物価は大変安く、見方によれば日本人より豊かな生活かも知れません。

ご多聞にもれず最近日本企業がコスタ・デル・ソルのある村の一部を買収し、シルバーコロンビア計画とやらを進めているとのことでした。

日本にも欧米なみの夏のバカンスを取るのが習慣となる時代が近々やって来るだろうと思います。その時は、ぜひみなさん！ コスタ・デル・ソルで！

## “ 郵便局だより ”

当「美原木材団地簡易郵便局」も皆様方のおかげをもちまして、はや満二周年を迎えました。これを記念して日頃の感謝をこめて、現在当郵便局では謝恩サービスを実施しています。

期間は9月1日～9月30日までとなっております。当簡易郵便局利用の方（但し普通郵便物は除く）には、もれなく抽選券を進呈いたしますので多数のご来局をお待ちしております。

## 【 団地内のうごき 】

### ★ 木材団地盆おどり大会を開催

去る8月21日（金）、22日（土）の両日、Aグラウンドにおいて、木材団地盆踊り大会が盛大に開催された。

この盆踊り大会は例年、木材団地々区会が主催で実施しているが、本年度は組合創立25周年を記念して、木栄会と自治会が共催し、組合が後援という型で運営された。

当日は、木材団地音頭の新曲発表・抽選会も有り、来賓・地区住民・団地内企業の人々のほか、2日間のべ約1,000人の来場者でにぎわった。

また事前に配布されていた25周年記念浴衣も会場に花を添え、夏の風物詩といわれる盆踊り大会が、ここでは木材団地全体の一大イベントとなった。



（盆おどり大会風景）

## 『緑の少年団』情報

### ◎ 大阪府交流集會に参加、第2回学習バスツアー実施

当木材工場団地協同組合には、昭和60年以来木材団地地区の学童を対象とする「美原町木材団地緑の少年団」という全国組織団体が活動しているが、同団ではこのほど62年度の夏の行事として標記のように2つのイベントに参加、または実施した。

7月25～26日には大阪府緑の環境整備室の主催で、金剛山での府交流集會に参加した(代表6名)。25日は午後1時30分より登山を開始、1時間ほどで山上のイベント広場に到着、その夜は香楠荘へ泊りつつ夜はキャンプファイヤーを囲んで各団(参加4団体)の交流会を行なった。

26日は早朝より尾根伝いに探鳥会を行ない、9時より木彫りの看板をつくった。「ゴミは持ち帰りましょう」「火の用心」などの標語や、「ひのき」「ぶな」など樹木名を彫り込み、彩色したものである。なおこの看板の材料である米松の板(12×200×300%)100枚は、当木材団地が寄贈した(製作・東部木材)。米松の板はよく木目が出て、子供たちには大変好評で、改めて木への愛着を深めたようであった。午後はその看板を樹木にとりつけつつ下山、4時頃無事故裡に解散した。

7月28日、当緑の少年団主催の第2回バスツアーが実施された(参加34名)。行き先は交野市私市にある大阪市立大学理学部付属植物園であった。ほぼわが団地の総面積に匹敵するこの植物園の第一の特徴は、世界各国の樹木が集められていることであり、第二の特徴はできる限り人工を加えず自然の成り行きのままにしていることである。米国产のユリノキやセコイヤの林で囲まれた広場で弁当を広げたが、枝を払っていないおかげで子供たちは存分に木登りなどを楽しんでいた。木に登ればさまざまな虫がいることなども解り、子供にはよい体験になったことであろう。

午後は東隣りの私市ハイキング・コースの沢登りを楽しんだ。このところ雨が降らず水が枯れていて、水量に乏しい沢であったが、くろんど池まで行き帰途、すいれん池で府管理事務所の柴田氏より、いろいろ木にまつわる話を聞いた。それによると松など針葉樹はシイ・カシなど広葉樹におされて衰退していく運命にあり、このくろんど園地の山でもその傾向にあるということであった。

4時頃バスにのり、5時30分無事ウッドルーム前に帰着、解散した。来年度の第3回目には、組合員の社員の子弟にも参加を呼びかけたい。(田中繁男 記)

## 『日頃の心がまえ』

- (1) 大きな目標は人間を大きくする。
- (2) 仕事をすべし、させられるべからず。
- (3) 「ちっぽけな仕事」はない。



## 【事務局だより】

### ★ 第2回ゴルフコンペの実施について

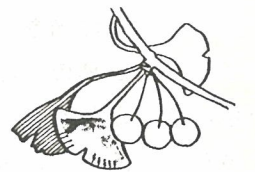
去る6月30日、第2回木材団地ゴルフコンペがPLカントリーで行われました。当日は月末ということもあってか参加者は11名にとどまりましたが、各々思い切り腕をふるい実力以上? の成績があがった模様。

上位3人の成績は次のとおり。

	グロス	ハンディ	ネット
優勝 磯口 清氏(共立木材株)	84	16	68
準優勝 高島 正一氏(東部木材株)	89	14	75
3位 笠井 文雄氏(菊水株)	98	23	75

なお今後、定例的にゴルフコンペを行うため、今回、同好会の規約を新たに制定し、それに基づいて正式な会員の募集を行いました。とりあえずメンバー15名が登録され役員も次のとおり選出されました。

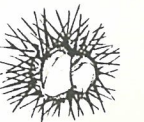
名誉会長	中川 藤一氏	
会長	成瀬 良彦氏	
幹事	高島 正一氏	山谷吉良氏
監事	和中 禎造氏	



### ★ 第3回ウッドフェアについて

昨年、一昨年と開催され好評を得たウッドフェアが、今年も内容の充実を計りビッグスケールで開催されます。具体的な内容等は追ってご案内いたします。

- (開催日時) 昭和62年10月24日(土) 午前10時～午後5時
- 〃 25日(日) 午前10時～午後5時
- (開催場所) 木材団地・事務所周辺



### ★ 情報資料室の利用について

さきの組合会館の改装に伴い、一階事務所内に情報資料室を設置し新たに木材関係を中心に20数種の資料をとりそろえました。

書籍及び資料の貸出は原則としていたしません。コピーは専用機を設置いたしましたので、ご自由におとり下さい。(担 各サイズ1枚10円実費)

皆様からのご要望の多い資料等につきましては、漸次とりそろえ充実していきたいと考えておりますので、情報資料室を情報集約の場として又、各自の知識修得の場としてご利用いただきますようご案内いたします。

### ★ 第39回建設大臣表彰について

去る7月10日、建設業会の功勞により、マルコマ株常務取締役の鈴木友夫氏が、第39回建設大臣表彰を受けられました。

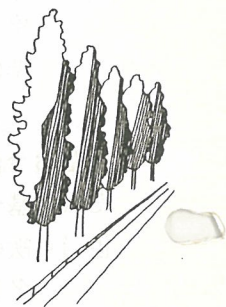
★ 中川理事長の著書（共著）が出版される

（図書名） 木材流通が変わる  
—— 明日をどう拓くか

（発行所） 日本林業調査会

（定 価） 1,800 円

安藤友一氏・池知正水氏・中川理事長共著による図書がこのたび出版されました。本書は変化を先どりし、林業・木材産業が生き抜く実践的な道筋を示した待望の書物であり、組合員の皆様にぜひ一読をお勧めいたします。



---

ひとことコーナー

### なぜ紅葉するの

植物は太陽の光を受けて葉でつくった糖분을枝や根の法へ送っています。ところが寒くなってくると葉の付け根のところに離層という細胞層ができ、糖分を送る管が切れてしまい葉に糖分がたくさんたまりまます。

このたまった糖分からアントシアンという赤い色素ができ、これまであった葉緑素が寒さによってこわれてなくなるため赤い色が目立つのです。この紅葉は昼夜の温度差が大きい高冷地ほど見事になります。

また、クリやクヌギなどはフロバフェンという茶色の色素が、イチョウ、タカノツメなどが黄色くなるのはもともと葉の中にあるカロチノイドという黄色の色素が葉緑素がなくなったので目立ってくるからです。

離層がもっとすすむと最後には葉は落ちてしまいます。

（みどり NO.11より）



---

### 【 編 集 後 記 】

郵便局では開局二周年の感謝月間として、謝恩サービスを実施しております。皆様のご利用をお待ちしております。又、環境整備事業も初年度の事業が終了し、先般開かれた総会でも今後より一層促進していくことが決意された。“あたらしき大地”も今後より一層の充実をはかりたいと思います。ご意見・ご感想また新企画案 etc... どしどしお寄せ下さい。

（あたらしき大地 編集部）